2023年 ふくやま書道美術館催物案内　9月

日	曜
1	金
2	土
3	日
4	月
5	火
6	水
7	木
★8	金
★9	土
10	日
11	月
12	火
13	水
14	木
★15	金
★16	土
17	日
18	月
19	火
20	水
21	木
22	金
23	土
24	日
25	月
26	火
27	水
28	木
29	金
30	土

常設展示室・展示室・多目的室

ふくやま書道美術館開館20周年記念

秋の所蔵品展Ⅰ「かな ― 料紙と奏でる美しさ

桑田笹舟、桑田三舟を中心に」

会期：2023年8月25日(金)～10月15日(日)

休館日：月曜休館　※ただし，9月18日(月･祝)と10月9日(月･祝)は開館，
9月19日(火)と10月10日(火)は休館。

会　場：常設展示室・展示室・ふくやま美術館2階多目的室

★夜間開館のお知らせ★
9月8日(金)，9日(土)，15日(金)，16日(土)は19時まで開館。

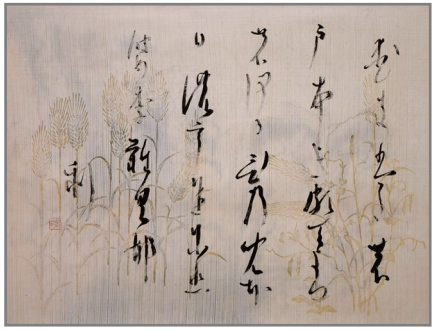
展覧会内容

書のかなの表現において、料紙は切り離すことのできない用紙です。料紙とは、平安時代に開花した美しい装飾紙で、さまざまな着色や文様、金銀の箔などが施されています。

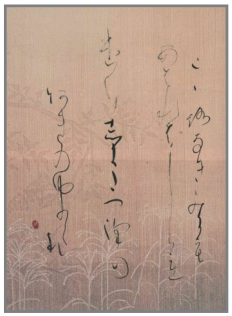
料紙の歴史は奈良時代にまでさかのぼります。当時は色を染めただけの簡単なものが主でしたが、平安時代には多様な手法で作られた華やかな装飾の料紙が現れ、その上に書かれた数々の古筆の美しさは現代でも色褪せていません。

現代のかな書家は、古典的技法の料紙だけでなく、現代的な技法と感性を駆使した新しい料紙を作り、その上に文字をのせた作品も制作・発表しています。

ふくやま書道美術館は、本年で開館２０周年の節目を迎えます。これを記念して、本展覧会では会場を３室に拡大し、桑田笹舟、桑田三舟など現代かな書家が料紙を使った作品に焦点を当て、料紙の美とそこに流れるかな文字の美しさを感じていただきます。



桑田笹舟
《麦畠の》



髙木聖鶴
《こころなき》

桑田三舟《白玉の》

料紙と奏でる♪ その魅力をちょこっとご紹介！

書道に用いられる紙と聞いた時，一般的に「半紙」を思い浮かべる方が多いと思います。実は，半紙とは紙の「サイズ」のことで，書道作品を書く紙そのものの固有名詞ではないのです。しかしながら，「半紙」はすっかり書道の紙の意味として定着していますよね。一方，今回のテーマでもある「料紙(りょうし)」を初めて耳にした方も多いと思います!料紙とは，書を書く前の段階で，紙に絵の具や切り紙，金箔など装飾を加えたもので，料紙選び又は制作には作家が主題に対してどんなイメージで作品作りをしたのか，熱意やこだわりも伺えます！ さて，近代以降，書道は書壇が形成され漢字･かな･前衛など分野が分かれ作品が発表されています。その中でも美しい「料紙」が作品を引き立てるのは，かなの分野です。かな(仮名)は，漢字を源流とはするものの，日本特有の文字です!その，かな作品を引き立てる「料紙」ですので，料紙の美しさに触れることで，日本の美意識を感じることもできますよ!! かな作品は，空間の美も作品の重要な見せ場として表現されています。その空間に広がる料紙の地色の濃淡，草木の文様，金銀の砂子や野毛(のげ)など…ある意味，作品の光と影を演出する効果もあるような気がしますね!まるで料紙をステージにした，かなの音楽会です！

今秋、展示室で、かなと料紙の奏でを～♪ご鑑賞ください★

所蔵品展観覧料

一　般	１５０円　(１２０円)
高校生以下無料	

※(　)内は有料20名以上の団体料金

次の方は観覧料が**無料**です

- ■社会福祉施設に入所されている方
- ■福山市・府中市・神石高原町に住所を有する65歳以上の方（運転免許証やマイナンバーカードなど、住所・年齢が確認できるものが必要）
- ■身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳を持参する方、及びその介護者1名

※開館時間は午前9時３０分から午後5時までです。
※月曜日【　　の日】は休館日です。

FUKUYAMA MUSEUM OF CALLIGRAPHY
ふくやま書道美術館
〒720-0067　福山市西町二丁目4番3号
JR福山駅福山城口(北口)から西へ約400m　TEL 084-925-9222
Webページ　www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/fukuyama-syodo/
電子メール　syodo@city.fukuyama.hiroshima.jp